

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 令和8年度事業計画（委員会単位）

(グローバルビジネス委員会関係事業)ーR08計画																			
事業	事業項目	内 容	担 当	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	収入予算	支出予算	備 考	
グロ ー バ ル ビ ジ ネ ス 展 開 ・ 普 及 事 業	交流事業 海外団体・関係機関・行政 とのグローバルビジネス連携 推進事業 (Ⅳ-1-(1)-ab)	1. 年間を通じたJISA国際イベントへの参加および各国情報サービス業団体との 連携・交流活動。 2. 既存交流団体（JISA・CISA等）に加え、ASEAN諸国を中心とした業界団体との 交流を継続推進する。特にASOGIO年次総会（次回バキスタン開催予定）への参 加を通じ、PIKOM・CISA等との関係強化およびMISAのプレゼンス向上を図る。 3. 韓日産業・技術協力財団（韓日財団）より、韓国IT企業と宮城県内IT企業のビ ジネスマッチング交流会の打診を受けた（宮城県産産デジタル推進経路）。費 用は韓国側負担。9月開催に向けて調整中。 4. 仙台市・宮城県・宮城県警・東北大学など関係機関との連携・情報交換を強化 し、セミナー開催も視野に入れる（候補テーマ：「サイバーセキュリティと国家安 全保障」「海外進出戦略」	グロ ー バ ル ビ ジ ネ ス 委 員 会	内容精査												100千円	{ 会議費 参加費 }	G7財務大臣会合(26年1月)での円安是正への言及など、為替環境の変化が見込まれる中、円安を主因 とした外国人材獲得の消極姿勢を見直す余地が生じている。新年度は国際人材獲得の検討を再開した い。 韓日財団との連携については、韓国側が諸費用を負担する好条件に加え、宮城県のソウル事務所設 置・直行便支援など地元自治体の後押しも期待できることから、開催を前向きに検討したい。なお、本連 携事業および今後の国際行事への参加費用として、年間100千円(ASOGIO関連:100千円の予算増額を 要請する。	
	発展 ・ 普 及 ICT CONFERENCE (Ⅰ-1-(1)-a)	当協会にに対し会員・外部からの理解促進を図るため、コミュニケーションツールと してのイベントを開催する。次回テーマ候補としては、国内外で急速に注目が高 まる最新技術動向(AIエージェント・サイバーセキュリティ等)を軸に検討したい。		内容精査														300千円 会場費 講師謝金 通信運搬費 印刷製本代	過年度のよい点・課題を委員会内外で広く共有した上で、実施時期も含め慎重に検討する。当委員会主 導で企画する場合はVISIONと中長期計画を踏まえ、国際関連テーマに沿った内容とすること。AIエ ージェント(OpenClaw)やサイバーセキュリティはいずれも国際的な動向や連携とも一定の関連があるた め、当委員会として関与する観点からも有望なテーマと考える。特段の要請がある場合は、事前にス テークホルダーと丁寧に協議の上で進める。また、他委員会との共同企画も視野に入れ、MISA全体の 連携強化につながる設計としたい。 なお、本事業については「グローバルビジネス」という委員会本来の目的との乖離が従前より指摘されて おり、5/10の委員会において見直しに向けた議論を行った。関係委員会との協議を経て、今年度中に主 管のあり方を整理する予定。
	国際 人 材 採 用 促 進 国際人材(留学生、域内滞在 国際人材、および新規招聘 人材)の採用促進事業 (Ⅰ-1-(1)-a)	1. 東北大学をはじめとする域内の大学・専門学校・専修学校等と連携し、国際人 材の採用可能性を検討する(文科省・経産省インターンシップ受入促進事業との 連携等)。なお、26年4月に経産省よりJISAでの啓蒙イベントへの登壇要請があ り、連携先として新たに経産省を加える。 2. 海外業界団体との交流事業を通じ、公的団体・関連団体と連携することで域内 滞在国际人材の採用機会を検討する。その一環として、外国人留学生・日本人学 生・地域IT企業が一堂に会する交流イベント(書き手セッション)の復活を検討し、 人材と企業のマッチング促進・地域定着の醸成を図る。 3. 外国人留学生の域内定着・就労促進を図るため、受け入れ支援や研修会の実 施を検討する。地域IT業界への就職に直結するプログラムを想定しており、関係 機関と連携しながら事業の実効性・ニーズを見極めたうえで具体化を進める予 定。		関係機関との協議・ヒアリング等															経産省・日本政府による国際人材獲得促進政策は新年度も重点化・予算増額が見込まれており(R8年 度概算要求「技術・人材協力を通じた新興国との共創推進事業」[38億円(新規)]等参照)、追い風の環 境にある。26年4月には経産省貿易振興課よりJISA会員企業向けイベントでMISAグローバル委員会の 連携実績を発表してほしい旨の依頼もあり、予算措置は不要ながら引き続き重点的に取り組んでいき たい。なお、セミナー等の実施状況によっては、年度途中での予算措置が必要となる場合も想定され る。
経産省・JISA国際人材イベント登壇&関連事業																			

(注1)事業項目欄の()内は事業計画書の項目Noを示す。

		(広報委員会関係事業)ーR08計画																
事業	事業項目	内 容	担当	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	収入予算	支出予算	備 考
広 報 業	情報誌の発行	当協会内部及び外部へ、当協会の理解を深めてもらうため、各種広報誌やPR動画を作成し、会員・関係機関・団体、一般公共施設等に加え大学、高専、専門学校、高校などにも配布する。また、MISAホームページ、SNS及びメディアへの継続的な情報を提供し、協会のプレゼンス向上に努めると共に会員企業への公平・公正な情報発信をおこなう。	広報委員会															
	協会情報誌による情報発信 (Ⅰ-4-(1))	・MISA情報誌：年2回発行 発行部数は1回当り600部とする。 第59号を4月、第60号(30周年記念号)を10月に発行する。 ・協会情報誌発行：6月		○第59号発行					準備		○第60号発行					300千円 (広告料)	1,200千円 (通信運搬費 印刷製本代 謝金 等)	・MISA情報誌 経営委員会アンケート結果／表紙用MISAフォトコンテスト実施／MISA会員企業 NEW技術情報掲載／会員企業インタビュー ・協会情報誌発行
	MISAホームページ＆MISA SNSによる情報発信 (Ⅰ-4-(2))	・MISA関連イベントをホームページとSNSを活用しMISA内外にタイムリーに情報を発信することでMISAのプレゼンス向上を図る。 対外的な情報発信に加えMISA会員に対し親しみやすく且つ有益な情報も提供する。							継続実施								150千円 (委託費 通信運搬費)	・MISAホームページ MISAホームページの情報発信力強化を目的として、各委員会ページの更新状況を定期的に確認・改善する。併せて、外部からのアクセス状況を分析し、Webサイトへの流入増加を図るための施策を検討・実施する。 ・MISA SNS SNSを活用した広報活動を強化し、投稿へのリアクション数(いいね等)およびWebサイトへの流入増加を図る。アクセス分析に基づく改善施策を実施するとともに、東北地域およびIT業界の取り組みや動向を分かりやすく発信する。 ・情報発信方法の見直し
事業	MISA公式SNS開設による知名度向上 (Ⅰ-4-(3))	・最新のSNS利用率等より、新規ターゲット層が多く利用するSNSを調査し、新たなMISA公式SNSを開設、情報発信することで、知名度向上、新規会員、人材確保に貢献する。							SNS調査、開設、情報発信									
	PR動画による認知度向上 (Ⅰ-4-(5))	・MISAのPR動画を制作し、認知度向上を図る。ターゲットを対外向けと人材確保用の2種類制作を目指し、今年度は対外向けPR動画および30周年記念動画の完成を目指す。	"	PR動画／ 30周年記念 動画の制作												3,000千円 (動画制作・ 準備費)	・PR動画／30周年記念動画制作費(のどかサポート／仙台放送)：2,200千円 ・MISA広報動画製作費／YouTube開設費：800千円	
	MISA会員企業及びメディアへの情報発信 (ニュースリリース) (Ⅰ-4-(6))	・MISA会員企業への公平・公正な情報発信をおこなう。 ・MISAの特徴的な行事を取り上げ新聞等のメディアに情報提供するとともに集客に努める。															・MISA会員への情報発信 情報発信方法の改善案検討 ・プレスリリース 報道機関向けプレスリリースの検討及び活用(MISAホームページ掲載等) ・各省庁からの有益な情報(MISA会員にメリットの有る)を発信する。	

(注1)事業項目欄の()内は事業計画書の項目Noを示す。